

塚田南小学校または海神小学校に自閉症・情緒障害特別支援学級設置と
学区外通学児童への通学支援に関する陳情

〔願意〕

1. 船橋市立塚田南小学校に 自閉症・情緒障害特別支援学級 の設置をお願いします。

ただし、現状の整備計画等から塚田南での設置が難しい場合には、同エリア南部に位置する海神小学校に設置することをご検討いただきたいです。

2. 学区外の支援学級に通学せざるを得ない児童については、通学サポートを充実させ、自家用車での送迎を正式に認める制度を検討してください。

〔理由〕

1. 児童数の集中

新船橋～塚田エリア（北本町）は市内でも児童数が多く、令和7年5月1日現在の学級編成一覧によると、小学1年生の児童数は

- 塚田南小学校：216名（市内1位）
- 塚田小学校：151名（市内5位）

となっています。にもかかわらず、塚田南小には自閉症情緒級、知的級共になく、塚田南小は通級指導教室のみの設置です。

2. 市の方針と現状のギャップ

2024年6月19日の文教委員会において、塚田南小には2027年度開設目標で知的級が設置されとの議事を確認しました。しかしこれは知的級のみであ

り、情緒級の設置は予定されていない認識です。結果として、北本町エリアの情緒級適用児童は遠方の行田東小学校に通学せざるを得ない状況です。

3. 海神小学校の活用可能性

北本町エリア南部に位置する海神小学校は、1 学年 3 クラス 84 人と児童数が比較的少なく、既に知的級が設置されています。ここに情緒級を新設すれば、行田東小学校より近く、安全に通学できる環境が整うと考えます。

4. 市内の先行事例と近隣自治体の動き

葛飾小、二宮小、夏見台小など、市内には知的級と情緒級が併設されている小学校が多数あります。また、浦安市では 2025 年度から知的級と情緒級を区分せずに運用するとの情報もあり、船橋市としても設置のスピードと柔軟な形態の検討が望まれます。

5. 通学サポートの必要性

昨今の猛暑により徒歩での通学は厳しく、特に学区外の支援級に通う児童には大きな負担となっています。現状、障害児・者移動支援事業費制度はあるものの、事業所が見つからないという声も多く聞かれます。したがって、自家用車による送迎を学校長の裁量ではなく、市として認める制度を整備していただきたいです。